

令和3年度 再評価対象事業一覧表（農業農村整備・県事業）

番号	事業名	地区名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）			事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	受益面積 h a	事業内容						
1	一般農道整備事業	かみいた 上板	板野郡上板町	275	54.0	農道工 L=720m	H9	25	⑥	87	本地域は、水稲にんじん作を中心とした低平農業地域であり、近年、藍住ICと土成ICを結ぶ四国縦横断自動車道や道の駅「いたの」の整備に伴い、地区の環境は急激に変化し、かつての純農村地域から、豊かな田園文化都市へと変貌を遂げている。しかしながら、通作・輸送等の基本となる道路の整備が十分でなく、通作や農産物の搬出入等に多大な労力を余儀なくされている。 このため、本事業により農道を開設することで、地域の農業通行体系の整備・確立を図り、あわせて生活環境の改善にも寄与するものである。	継続
2	広域農道整備事業	あさんみよし 阿讃三好	三好市 三好郡東みよし町	5,425	982.0	農道工 L=9,540m	H14	20	⑥	95	県西部の中山間地域に位置する本地域は、道路未整備等の営農条件不利に加え、農業従事者の高齢化、後継者不足等により地域農業を取り巻く状況は厳しさを増している。 このため、本事業により幹線農道を整備することで、地域の農業輸送体系の合理化・近代化を確立するとともに、一方では緊急時のライフラインとして、集落の孤立化防止や緊急輸送路を補完する機能を発揮する本事業の整備推進が強く期待されている。	継続
3	広域農道整備事業	とくしまとうぶ 徳島東部3期	徳島市 勝浦郡勝浦町 勝浦郡上勝町 名東郡佐那河内村	4,349	1,806.0	農道工 L=4,327m	H16	18	⑤	86	県東部の中山間地域に位置する本地域は、道路未整備等の営農条件不利に加え、農業従事者の高齢化、後継者不足等により地域農業を取り巻く状況は厳しさを増している。 このため、本事業により幹線農道の整備により、農業輸送の経費節減や通作時間の短縮を図り、緊急時のライフラインとして、集落の孤立化防止や緊急輸送路を補完する機能を発揮する本事業の整備推進が強く期待されている。	継続
4	経営体育成基盤整備事業	ぬまた 沼田	美馬市	426	17.5	ほ場整備工 A=17.5ha	H29	5	②	90	中山間地域では、特に高齢化など農村の人的資本の減少が見込まれる状況下で、農業を展開するためには、農作業の負担軽減や担い手への農地集積を進める必要がある。こうした中、本地区の農地は、小規模不整形な農地が多く、かつ用排水路や農道が未整備であり、農作業に多大な労力を要している。 このため、本事業により区画整理を行い、農地集積を進め、農業経営の安定と農業生産性の向上を図る。地元受益者や美馬市からは、事業の早期完成を要望されている。	継続
5	地すべり対策事業	にししいや 西祖谷2期	三好市	670	184.2	排水ボ-リング工 L=13,700m 排水路工 L=285m 承水路工 L=135m 護岸工 L=400m 土留工 N=1箇所 堰堤工 N=3箇所 集水井工 N=6箇所	H24	10	⑥	87	近年、地球温暖化に伴う異常気象により雨の降り方が局地化・激甚化している。それに伴い土砂災害の発生頻度も近年増加傾向にある。地元住民からも、ゲリラ豪雨や線状降水帯等による地すべり災害を危惧する声が高まっており、国土強靱化や住民の安全・安心な生活の確保が急務である。 一方、当地区は畑作や茶園が盛んな地域であり、H30年には「世界農業遺産（にし阿波の傾斜地農耕システム）」に認定されたことから、地元は農地の保全や持続的農業に関心が強く事業の早期完成を強く要望している。	継続
6	地盤沈下対策事業	あいずみ 藍住3期	板野郡藍住町	1,024	54.1	幹線管水路工 L=780m 末端配管施設 A=54.1ha 揚水機場工 N=1箇所	H29	5	②	48	本地区は、地盤沈下に起因した用水路の通水能力低下が営農の支障となっているため、地区内用水路の恒久的地盤対策として、用水路のパイプライン化を行っている。残工事については地元調整を図りながら早期完成を目指し、農業経営の安定に資する。	継続

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和3年度 再評価対象事業一覧表（水産基盤整備・県事業）

番号	事業名	ふりがな 漁港名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・工種等）		事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	工種・数量等						
7	広域漁港整備事業	牟岐漁港	牟岐地区 古牟岐地区	4,520	護岸 L=459m 物揚場 L=110m 導流堤 L=50m 耐震強化岸壁 L=80m 水門 N=1基 橋梁 N=1基 臨港道路 L=440m 西防波堤(改良) L=274m 東防波堤(改良) L=307m 沖防波堤 L=30m 浚渫 A=14,200m <sup>2</sup> 突堤 L=30m	H14	20	⑥	70	<p>本事業は、牟岐漁港において、漁港施設の整備・改良による就労環境の改善、防波堤や水門の整備及び護岸の高上げ等の対策により地域の安全・安心を確保するため、平成14年度に着手した。事業着手後、東日本大震災により耐震・耐津波等の基準が改定され、整備方針の見直しが必要となった。平成24年度には、徳島県地域防災計画において「防災拠点漁港」に位置づけられたことから、発生直後から、物資や避難者の輸送が可能な強度を有することが求められている。</p> <p>県南地域では、過去から津波被害を被ってきたこともあり、水産業の振興に加え、防災機能を強化する本事業に対する地域の期待は大きく、早期完成が期待される。</p> <p>なお、海水交換施設については、あらためて地元調整を行ったところ、現状でも港内外で一定の海水循環があり、港内養殖にも支障を来していないこと、防曇施設については、近傍の荷捌き所への集約が進んでおり、利用頻度が非常に低くなっていることから不施工とする。</p> <p>また、胸壁・水門（改良）については、別途、海岸事業で実施するため、本事業では不施工とする。</p>	見直し 継続

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和3年度 再評価対象事業一覧表（森林整備・県事業）

番号	事業名	ふりがな 路線名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・利用区域面積・延長等）			事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 h a	延長 m						
8	林道開設事業	おおがわら 大川原 あさひのぼるせん 旭丸線	勝浦郡上勝町 名西郡神山町 名東郡佐那河内村	3,278	992	16,460	H3	31	⑤	97	<p>本県は県土の4分の3を森林が占め、人工林率も60%と高く、木材資源量はこの40年間で約3倍にまで増加し、その大部分が利用可能な状態まで成長している。</p> <p>この豊富な木材資源を活用するため、川上から川下に至る一貫した林業プロジェクトを展開しているが、この度の新型コロナウイルス感染症の影響で顕在化した建築材の外材依存リスクへの対応において、いかに木材を安定的に生産・供給できるかが課題となっていることから、高性能林業機械の導入と林内路網の核となる林道の整備は特に重要となっている。</p> <p>また、当該路線の人工林面積のうち56%は31年～50年生と、間伐が必要な森林も多く存在しており、山地災害を防止する上でも区域内の森林整備を進める。</p>	継続

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和3年度 再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県及び市町村事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
1	道路改築事業	徳島県	主要地方道 徳島環状線 しんはまはちまん 新浜八万工区	徳島市	L=2,000m W=14.0(36.0)m C=39,000百万円	H9	25	⑥	69	98	当該工区は、「徳島環状道路」の南東部を形成し、徳島西環状線及び一般国道192号徳島南環状道路と合わせて「徳島環状道路」として、地域高規格道路に指定されている延長約2.0kmの4車線道路である。当該区間の整備により、高規格幹線道路四国縦貫道・横断道へのアクセスが向上するとともに、交通の分散による徳島市及び周辺地域の慢性的な渋滞の解消、緊急輸送路の拡充等が図られる。	継続
2	緊急地方道路整備事業	徳島県	一般国道193号 くらら 倉羅工区	吉野川市～神山町	L=5,100m W=6.0(8.0)m C=11,100百万円	H4	30	⑥	52	97	当該工区は、吉野川市と神山町を結ぶ倉羅峠を含む区間であり、現道は、線形不良、幅員狭小区間が連続し、また、異常気象通行規制区間であるため、交通の隘路となっている。平成4年から約2.7kmのトンネルを含むバイパス事業を進めている。当該工区の整備により安全で円滑な交通の確保が図られる。	継続
3	総合流域防災事業	徳島県	どいだにがわ 土井谷川	美馬市	L=1,170m 河道拡幅 C= 1,100百万円	H29	5	①	11	0	当河川は、美馬市脇町の平野部を流れ、吉野川と合流する一級河川である。当該河川は、河道狭小のため過去から洪水被害が発生しており、浸水被害の軽減を図ることを目的に、平成29年度から事業に着手した。 しかしながら、事業開始後5年間、粘り強く用地交渉を行ったが、地元の了解（用地境界等）が得られず、工事着手の見込みが立たないことから事業を休止する。	休止
4	総合流域防災事業	徳島県	くろたにがわ 黒谷川	板野町	L=4,250m 河道拡幅 C= 1,350百万円	H14	20	⑥	76	68	当河川は、板野町の山間部を南に流れた後、東に向きを変え、旧吉野川と合流する一級河川である。河道狭小のため過去から洪水被害が発生しており、早期改修を望む地元からの要望が強い。平成14年から全体改修延長4.25kmの改修事業に着手し、令和8年度の完成を目指している。	継続

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
5	急傾斜地崩壊対策事業	徳島県	てんじんまえ 天神前	牟岐町	擁壁工L=94m 法面工A=1,874m <sup>2</sup> C=324百万円	H24	10	③	67	100	当箇所は、海部郡牟岐町川長に位置し、人家13戸及び避難所1戸を保全するため、急傾斜施設による整備を平成24年度より事業着手しており、令和6年度の完成を目指している。	継続
6	急傾斜地崩壊対策事業	徳島県	かわに 川ヨリ西	海陽町	擁壁工L=230m 法面工A=3,210m <sup>2</sup> C=488百万円	H24	10	③	80	100	当箇所は、海部郡海陽町浅川に位置し、人家18戸及び避難所2戸を保全するため、急傾斜施設による整備を平成24年度より事業着手しており、令和6年度の完成を目指している。	継続
7	急傾斜地崩壊対策事業	徳島県	みなみまち 南町(2)	那賀町	擁壁工L=120m C=135百万円	H24	10	③	84	83	当箇所は、那賀郡那賀町土佐に位置し、人家9戸及び国道195号、避難所1戸を保全するため、急傾斜施設による整備を平成24年度より事業着手しており、令和5年度の完成を目指している。	継続
8	通常砂防事業	徳島県	ひがしたにがわ 東谷川	板野町	H=5.5m L=30.9m 砂防堰堤 N=1基 C=150百万円	H31	3	①	63	0	当箇所は、板野郡板野町大坂に位置し、人家3戸及び公共交通機関(JR高德線)を保全するため、砂防堰堤による整備を平成31年度より事業着手しており、令和5年度の完成を目指している。	継続

評価対象事項の①～⑦の区分

- ① 事業採択後5(3)年目で未着工の事業箇所
- ② 事業採択後5年目で継続中の事業箇所(補助事業、砂防事業)
- ③ 事業採択後10年目で継続中の事業箇所(交付金事業等)
- ④ 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所  
※①、⑥の( )は砂防事業の場合

- ⑤ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- ⑥ 再評価後5(3)年間を経過した事業
- ⑦ 事後評価対象

令和3年度 事後評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県及び市町村事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元	事業採択年度	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等
					全体事業費 C(百万円)等		
1	地すべり対策事業	徳島県	こい古井	吉野川市	横ボーリング工 L=6,650m アンカー工 N=54本 水路工 L=163m C=448百万円	H21	当箇所は吉野川市美郷古井に位置し、保全対象として人家18戸、国道193号および市道を含む地すべり防止区域である。市道擁壁や民家の変状、クラックが見受けられ、地すべりの危険性が高まっていた。平成21年度に着手し、令和2年3月に完成した。
2	地すべり対策事業	徳島県	てらお寺尾	吉野川市	横ボーリング工 L=1,720m アンカー工 N=2本 C=122百万円	H27	当箇所は吉野川市美郷照尾に位置し、保全対象として人家16戸、国道193号および市道を含む地すべり防止区域である。市道擁壁や民家の変状、クラックが見受けられ、地すべりの危険性が高まっていた。平成27年度に着手し、令和元年11月に完成した。
3	地すべり対策事業	徳島県	すぎき杉の木	三好市	横ボーリング工 L=7,285m 水路工 L=603m C=419百万円	H21	当箇所は三好市井川町杉の木に位置し、保全対象として人家73戸、県道大利辻線および市道を含む地すべり防止区域である。市道擁壁や民家の変状、クラックが見受けられ、地すべりの危険性が高まっていた。平成21年度に着手し、令和元年8月に完成した。